

鳥海山広葉樹林の探索

10月19日(水)酒田市草津字湯ノ台の鳥海国定公園内にある猛禽類保護センター(鳥海イヌワシみらい館)の見学と鳥海高原家族旅行村に隣接している広葉樹林の探索を実施しました。

当日は曇一つない絶好の秋晴れの天気恵まれ温かな日となり、年長組園児25名、保育園先生4名、保育園運転手1名、やまがた公益の森づくり支援センター職員1名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、総勢35名で広葉樹林の探索に出かけました。

保育園の玄関前で出発式を行い、今日の日程や安全確保について説明をしました。また、本日のゲスト(講師)として参加していただく森づくりアドバイザーの白壁洋子氏を紹介しました。白壁さんは「壁さん」と呼んで下さいと自己紹介をし、園児の皆さんから「壁さん、壁さん」と元氣な声を掛けてもらいました。保育園のバスに乗った園児の皆さんは、早速、大きな声で「クロマツの歌」を歌い、壁さんにプレゼントしました。

猛禽類保護センターでは、猛禽類保護センター事務員の相馬さんと村上さんが園児達を温かく迎え入れてくれました。センターでは、猛禽類(ワシ、タカ、ハヤブサ等)の生態などの説明を聞いて、園児達からは、イヌワシは大きくて「カッコいい」とかミサゴは魚を取る空の漁師さんなどの言葉が飛び交いました。また、猛禽類の鳴き声や食べ物、卵に触って、クマタカの巣に上がったりして、改めて鳥海山の自然の豊かさを感じていました。

次に、広葉樹林の探索に向かいました。登山道を歩き始めた園児の皆さんは、鳥海山での宝物を探すべく、目を輝かせて広葉樹林内を見つめていました。暫くすると、園児の皆さんから、「ドングリ見つけたよ」、「このキノコ食べられる」、「この花綺麗だよ」などと喜びを表したかん高い声が上がりました。壁さんからアキグミの説明があり、「この赤い実は食べられます」と説明がありました。すると、ものおじしない園児の皆さんは早速、赤い実を取って食べ、「酸っぱい」と顔をしかめていました。

しばらく行くとバンガローの隣に生えていたミスナウでは、ドングリがいっぱい落ちていました。ここでは、園児の皆さん全員が、ドングリを拾うことができました。ある女の子は、ドングリには可愛らしい帽子がよく似合うと感想を言ってくれました。約1時間ほど広葉樹林を探索した園児達のビニール袋には、鳥海山の宝物がたくさん集まりました。

昼食は、家族旅行村のポビーハウスの外の芝生で行いました。園児達たちは、お母さんやお父さんが作ってくれたお弁当を互いに見せ合いながらおいしそうに食べていました。お弁当を食べる園児達の幸せそうな笑顔がとても印象的でした。

午後から、壁さんによるネイチャーゲーム「これなあーに」「木の葉のカルタとり」を実施し、鳥海山の自然や広葉樹の葉っぱの不思議に触れました。

最後に、鳥海山をバックに記念撮影を行い「鳥海山広葉樹林の探索」を終了しました。





朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター